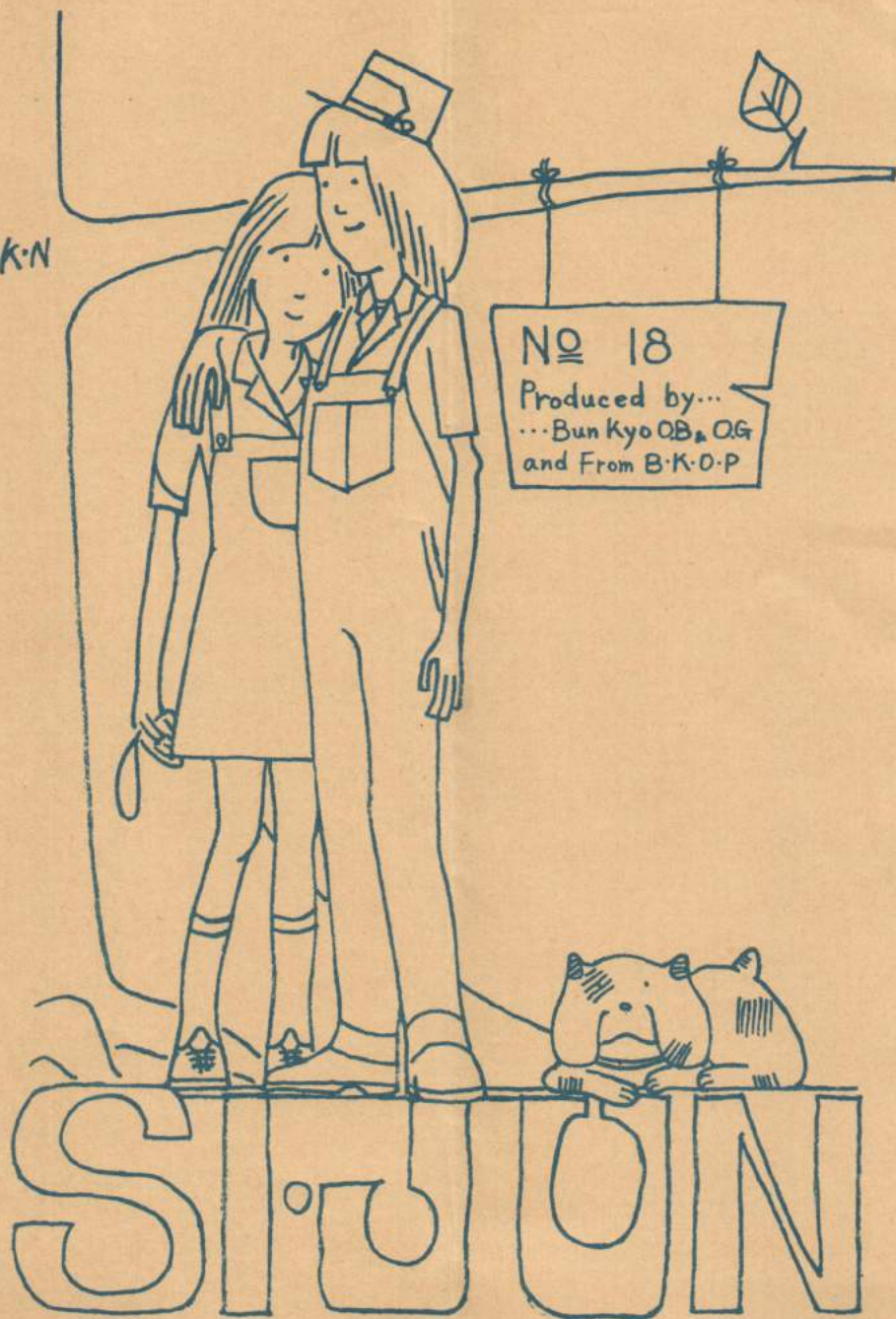


K·N



No 18

Produced by...
...Bun Kyo OB & OG
and From B·K·O·P

STATION

次

同期会開かる……………1

“文京”が生んだ偉大なるはなし家……………2

文京祭……………4

自治会……………6

校歌……………7

ヨーロッパを歴訪して……………8

飯塚先生ご逝去……………11

ダンス……………12

会計……………14

進学……………15

表紙のことば 就職状況・転任退職……………16

目

ヤーお久しぶり!

同期会開かる

— 46 · 47 · 48 年度卒業生 —

しとしとびつちゃん、しとびつちゃん、もう冬かと思えるぐらい寒さが厳しい昭和四十八年十月二十一日(日)に、ところは早稲田の新江戸川公園。その中の休憩所で三期合同同期会が行なわれた。

今回は、四十六年、四十七年、四十八年卒業生が集まった。最初、計画をたてた段階では、無料でもあるし、こういう機会はあまりないので、かなりの人数が予想され、下足番などは大変だ!などと冗談も飛び出していたが、あいにくのことに当日は朝から雨、おまけに肌寒い日曜となつてしまった。さあ、何人くらい来るだろうと運営委員一同、お茶菓子、コーラ、ビール(イヤ残念ながらビールは出なかつたが)——などを用意し、手ぐすねひいて待っていた。

集合時間をそれぞれの学年ごとにずらし、まず一時から四十六年度卒業生の集合。ぱら

りばらりと、一人、二人と傘をさしながら庭園の入口をくぐつてやつてきた。その後、二、三台の車が、水煙りをたてながら休憩所前に停車。十二、三人がぞろぞろとやつてきた。どうやら同じクラスの人のようだ。

結局、合計三十名ならず。まあまあの出だしであった。休憩所内は日本間になつていて8畳2間に会場を設け、お茶菓子などを用意しておいた。皆さん、お菓子などをつまみながら久しぶりの顔に、うれしそうに談話していた。雨はあい変わらず庭園にふりそいでいる。30分程たつて、それぞれ二次会を行なうため、庭園をあとにした。

続いて四十七年度卒。四十六年度よりは人数が多いだろうと予想をたてていたが見事に裏切られ合計二十名ならず。特に女子の少なさが目についた。やはり雨のせいもあろうか。少々落胆してしまつた。

最後に四十八年度卒。来るワ来るワ。先程の落胆も吹っこんでしまつた。集合時間より早くくる人もいて会場整理に大わらわであつた。男・女、同数ぐらいで、やつと同期会らしいムードになつた。総勢八十名ならず。休憩所をあます所なく使つた。一同が揃つたところで西岡先生のお話をいただき、20・30分、なつかしの級友たちと話をかわし、無事に同期会の幕を閉じた。

その後、四十八年卒の二、三クラスが日本間を借りてクラス会を行なつた。あるクラスは、ほとんど全員出席という盛況ぶり、久しぶりのクラスメートと愉快にお酒などをくみかわしていた。

今回の同期会を振り返つてみて気付いた事は、出席した人のクラスが非常にかたよつていた、ということ。一人も出席しなかつたクラスが数多くありました。せめて幹事さんだけでも出席して、次回の時に宣伝してほしいものです。

こういう機会には文京高校卒業生として集える唯一の場なのです。こういうチャンスを生かすも殺すも皆さんしだいなのです。どうか最大限に利用して下さい。

Y・Y

第1弾

“文京”が生んだ偉大なる
はなし家 三遊亭円窓師匠

我が文京から輩出なさったいろいろな方面で御活躍の先輩方を訪ねていろいろとお話を聞こうという企画を本号より始めました。その第一弾は、笑点 などでおなじみ、落語界で活躍中の三遊亭円窓師匠のインタビューの巻です。十月九日（水）文京高校文化祭の開会式。その式典に文京高校OBとして全校生徒を目前にすばらしいスピーチをなされた師匠。

その一部をピックアップしてみました。「それで大学へ行けなんという親の勧めもありまして、いやいやそのつもりでこちらの学校へ入りまして、エーとところが入るとなすね、高校へ入るとすぐ大学に入る心配をするわけで、とうとうやになっちゃいました。高校一年の時に逃げ出したくなりまして、はなし家になろうと思ひまして……とにかく高校だけはでなくちゃいけないよ、というわけで、卒業さえすればいいんだってエンで、卒業するための最低の勉強しかなかった。それでも卒業できたんですから、文京ってエニアたいしたもんですね。（場内爆笑）……高校時代には頭をつかわなけりゃいけない

すね。なにか一つだけ選んで自分のものにして社会に出てみる。ていうのも一つの方法じゃないかと思うんですがね。……

性格でもって小さい頃は人前へ出て話をするなんていうのが大きらい。すぐ真赤になっちゃう。ただ落語を聞くのが大好き。それが今、あっしやあ、はなし家になってずいぶんプラスになってるんです。話し上手、聞き上手なんていうことがありますが、やはり人の話を聞くってエのは非常に大切ですね。……話がうまくならないナと思つたら人の話を聞くこと。聞き上手になること。そして人の話を聞くときは相手の目をみること……落語をする時でも、目の使い方は肝心で、私たちに芝居とちがいがまして道具なんかありません。扇子と手ぬぐいだけで、最大限表現しようと努力するわけですね。その時、目が生きてないとまずいわけなんです。サンプルとして短い扇子で刀をあらわすジュエスチュア）……最後になりましたが私の好きなことばに、「らしく、ぶらず」ということばがあります。あたくしは、はなし家らしく、はなし家ぶ

ヒューマン文京シリーズ

おじやましりす

〈本名〉橋本八郎・昭和三十四年文京卒、当時の担任は赤坂教諭・卒業後すぐ三遊亭円窓師匠につき、三遊亭吉生の名を経て四十四年真打ちに昇進。現在は三児の父。

らず一生を送りたいと思います。あなた方にも学生らしく、学生ぶらずということをしよつと考えていただければ、あたくしこへ

来てなんか勝手なおしやべりをしたかがあると思います。長いこと聞いていただいて本当にありがとうございます。（拍手）

インタビューは、式典のあと校長室で先生方と談話なさっているところへお邪魔して行きました。

1、文京の校歌を覚えてらっしゃいますか？

師匠——エ？ 校歌？ 僕達の頃は校歌なんてなかったですネ。ネ、そうでしたネ？（と回りの先生方に）でもなくてよかったですヨ。覚えなくていいから。ハハハ。

2、印象に残っている先生は？

師匠——皆さんですネ。でもどつちかというところでは逃げまわってましたからね。授業で歩きながら教えてる先生は苦手でしたネ。自分のところで止まるとイヤな感じがしましたヨ。担任の赤坂先生にはお世話になりました。

3、どんな科目が好きでしたか？

師匠——特になし。

きらいな科目は？

師匠——キラいな物のネエ。全部だよ。

4、当時の性格は？

師匠——エーそうですネエ。三年間女子と一度も話をしたことがないっていうのが自慢ですネエ。メンドウくさいんだ。(冗談っぽく)女の子は信用できないからネ。一年の時のクラスはまだ男女一緒にで、女別々にすわっていたんです。でも二期になつてごちやませにしようという意見が出たんですけどボクが反対したら、ボクの意見が通っちゃいましたネ。結局そのままでした。

5、修学旅行はどこへ行かれましたか？

師匠——(あっけなく)いきませんでした。

(エ、病気でなまざつたんですか？)

イヤー、お金をおろして寄席へ行つたんですヨ。

6、今でも付き合っている友達はいませんか？

師匠——エエたまに会いますヨ。(ハレンチ学園の作者で有名な)永井豪氏のあにきとはよく会いますネ。

7、学校をご覧になってどうでしたか？

師匠——イヤー女の子が目につきますネエ。今は半々ぐらいでしょ。ボクらの時は二、

三割ぐらいしかいませんでしたヨ。

当時の教師と生徒との関係は？

師匠——逃げまわっていたから、よくわからないヨ。

8、高校での一番の思い出は？

師匠——ウーン(しばらく考えこんで)これといってないネエ。なにしろ学校の時間割なんか持たないで、ラジオの寄席番組の時間割をもっていたほどだからナア。今から思うと、漢文、古文なんざアもつとやるときやアよかった。いろいろ役に立つからネ。

10、なぜ、はなし家になつたんですか？

師匠——そうだネエ。やっぱり逃避じやアないかなア、勉強からの。

いつ頃からはなし家になろうと思つたんですか？ 高校へ入つてすぐ思つたヨ。

なぜ円生師匠を選んだのですか？

そっだネエ。感じがよかつたからだネ。11、今は、はなし家になつて良かつたと思いませんか？

師匠——いろいろ苦労はあるけれど好きな道に入つたんだからネエ。自分の思つた道を歩んでるんだから良かつたヨ。

12、息子さん達に継いでもらいたいとは思いませんか？

師匠——イヤ思わない。はなし家にはさせた

くないですネ。なにしろ、名人に二代なし、

というぐらいですからナ。ハハハ(爆笑)

13、師匠がはなし家になる時には両親は反対しませんでしたか？

師匠——イヤ話さなかつた。自分のことは自分で決めるんすヨ。話したら反対するに決つてるからネ。

13、目標にする人、尊敬する人は？

師匠——やっぱり師匠だネ。(他には？)そうだな。やっぱり親、先祖だろうな。

14、十八番のだしものは？

師匠——別がないネ。全部好きだし。全部で三百ぐらいかな。最初は小咄から覚えて落語らしい落語は、十徳、だつたネ。

以上の質問に快く答えて下さつた師匠。

「イヤー、他の学校なら何とでも言えるけど母校ってえのはやりにくいもんですネエ」と笑つておられました。最後に学校側から、「少ないですが交通費です。お受け取り下さい。」すると師匠「イヤ歩いてきたんですヨ」学校側「じゃ靴の底がへつたでしようから靴代にでも。本当にわずかですから」すかさず師匠「イヤーそれだつたらずざわりでわかりますヨ」一同爆笑。最後まで笑いが絶えず、楽しいインタビューとなりました。お忙しいなかをありがとうございました。師匠本当にありがとうございます。 記者 山下祐嗣

文京祭によせて

昭和48・49年度文京祭

学年別から

では、次に学年別にみてみることにしよう。すると、喫茶店の類いのものが圧倒的に多いのが一年生、次いで三年、二年はすべての点で充実している学年なのであろうか。割と少なかったようだ。では二年は何をやっていたのか。それはあとで述べるように劇・映画などが断然多かったようだ。

人気のあつたもの

今までは、お化け屋敷、喫茶店、バザーといったものが、文京祭の主たるものとなっていたが、今回は、そのお化け屋敷がぐんと減り、劇、自主映画の増加がめだっていた。と同時にその映画が、ものすごく人気を得ていた。これも47年度の文京祭の時の三・Hの自主映画「ファミリー・ファミリー」の感化であらうか？ 私もこの映画を楽しく見せていただき、その時は、これこそ文京祭が新たに歩み出したその一歩であらうなどと思っていました。それがこうぞくぞくと現われてくると、（しかも同じような形で）、その中に高校生らしい未完成さはあるものの、また一歩、二歩と後退してしまいうように感じられた次第です。



「たえず前進我隣子同志」昭和四十八年十一月十七日、十八日の両日に催された文京祭のスローガンがこれです。皆さん、覚えていらつしやいますか？「アリンコ」というのは夏の暑い時でも、冬の寒い時でも、地味な存在ではあるが、せつせと働き着実にその力を伸ばしてゆく動物の一つです。たえず前をみて……。そんな意味あいを含んでいたのであろうこのスローガン。果たして我々は、あの文京祭をかつてよりも進歩性のあるものにしたで

あろうか、それとも……。そこで今回は、その文京祭について、いろいろと思い出しながら、諸角度から眺がめてみることにしましょう。そしてこのことが、今後もつとつと続くであらう文京祭と、その発展のために精を出す文京生一人一人が、少しでもこれに関心をもたれることを願いながら……。

全体の傾向から

まあ、私達の学校ばかりでなくどこでも一番多いと思われるのが、この喫茶店、又はそれに類似したものです。今回の文京祭でもなんと10グループ以上が、これらなのです。そして、それに付け加え、バザーなども毎年多いものの一つといえます。みんなお祭りが好きなのであろうか。それとも、三無主義者がまだまだ多いのであろうか。ともかく、文京祭というところからトップを占めている。

49年度文化祭

一方、本年度の文化祭は、秋晴れに恵まれた十月九日、十日に行なわれました。

W I T H A W I L L (心をこめて) をスローガンにかけ、年に一度のお祭りを有意義なものにしようと皆一生懸命のようでした。

今回の特徴をズバリ一言で言うなら、今まで陰をひそめていた展示や研究発表の大きな躍進ということでしょう。

珍しくお化け屋敷の類が一つもなく、自主映画も一昨年、昨年にくらべ、ぐっと数が減ってきました。



展示や研究発表の中でユニークだったもの

には、最近話題になっている。A₂や着色料などをあつかった食品添加物を考えよう。や風呂研の。現代に忘れられたオアシスそれはお風呂。や都内の神社やお寺などの資料や解説書などを展示した。文京神社ここに登場。などで、けっこう人気を集めていました。その他にも、力作、珍作?が数多く見つけられました。

展示と対抗して根強い力を発揮していたのが喫茶店、休憩所の類で、全クラスの3分の1程度を占めていました。そのため、競争相手が多いせいか、ただお茶を飲むという所だけではなく、いろいろ趣向をこらし、ギター、それにピアノの弾き語りなどを企画したクラス、手芸品を、ばざあ、の品にしたクラスなど、いろいろバラエティにとんでいました。展示がいつになく多く、お化け屋敷などがなかったせいか、いくぶん落ちついた感じをうけましたが、それでも中庭や廊下での緑日などには、いせいのよい声が聞かれ、お祭り気分を盛りたてていました。

いつもならこのお祭り気分だけが先走ってしまふようなのですが今年には展示や発表の躍進でかなり内容があつたように思われます。そして今後の文京祭が単なる人の、まね、ではなく個性的でかつ、より思考的なものとなることを期待して、筆をおくことにします。

文京祭を終えて

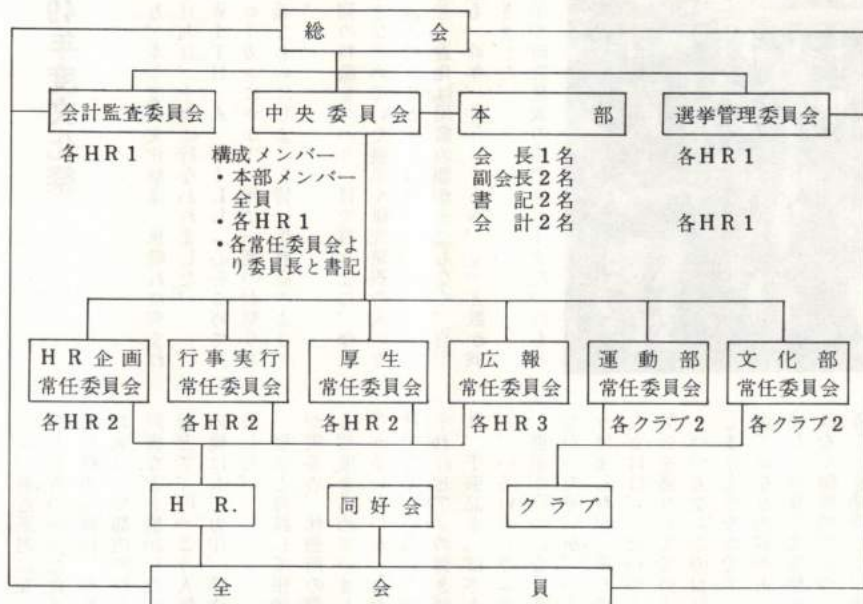
ある先生から

特に今年からという訳ではないが、昔に比べここ数年、全体的にお祭りの多い。昔のように、地道な研究の発表、勉学の成果をみせるといったものが殆どみられず、ただ文化祭の直前に一生懸命やるだけで文化祭に備えての努力の跡というものが見当たらない。

確かにお祭りの雰囲気であることは、文京だけでなく、他校へ行っても感じることで。せつかくの催し物だからたくさんの人にみてもらいたい。そのために、人目の引くもの、興味をひくものを催そうとする。そしてその結果が、お祭りのな騒ぎで終わってしまうことなのである。自分達の為にあるこの二日間を、ただの騒ぎだけで終わらさず、充実感を感じられるような、何かがもう一つ欲しいと思う。



都立文京高校生徒自治会組織図



自治会現状報告

昭和四十七年十月に新自治会が設立されたことは、「紫笥」17号でも、紹介しましたが、それから一年余りたった現在自治会がどのよう
に運営されているか、報告しましょう。

四月二十三日

・中央委員会 クラブの承認について

五月三十日

・四十七年度予算 決算承認

・四十八年度予算案承認中、閉会動議が出され、閉会となる。

三十一日

・臨時中央委員会

・クラブ常任委員会が臨時総会開催要求の署名運動を行う。

六月六日

・生徒総会にて予算案可決

十七日

・体育祭開催

七月二日

・常任委員長会議

十九日

・第二回全日制定時制交流会開催

意見の交換、二号館の全・定共用教室に交流ノートを配付する。

九月

・バレーボール配付（一周年記念）

二十七日

・中央委員会 会則改正原案出される

・第三回全日制定時制交流会開催

意見の交換、下校、清掃について。

十月

・文化祭実行委員会発足

覚えてますか？ 我が校歌！

校歌

おんがらに志見言く (♩=100ca)

土岐嘉孝 作曲
岸村廉太郎 作詞

わが校にあらばに いはれぬ
あどりのしほはら いかさきと し - つかく

に - せいの ちゅうら ぬきくちの かり

にど たたくしりかく よたこまかされて
たがいにほけし たがやすきかき

いしりく ぼたれ たりつくば ぼうきかたれ し - かい
しんうたえす - あろ - いたな り -

Call
みよあささきの はたさくこまかかやけ - - わ

れらの高 校 - 名 - は - ぶみ

学校の一つの象徴ともいえる校歌、入学式、卒業式には必ず一度は耳にし、自ら歌ったことでしょう。しかし最近では、ほとんどの生徒が満足に歌えないようです。卒業式に、心の底から大声はりあげて校歌をうたう…なんていう光景はここ2、3年見うけられなくなりました。確かに校歌に対する、イヤ学校そのものに対する愛着というものがうすれてきているようです。

学校を卒業しても、自然と口から校歌がでてくる…これこそ理想的な姿です。あなたはどうでしょう。歌詩は全部覚えていなくてもメロディぐらい覚い出せますか？ アレ、文京の校歌ってどんなだっけ？なんて頭をかしげる人が多勢いるんじゃないですか？

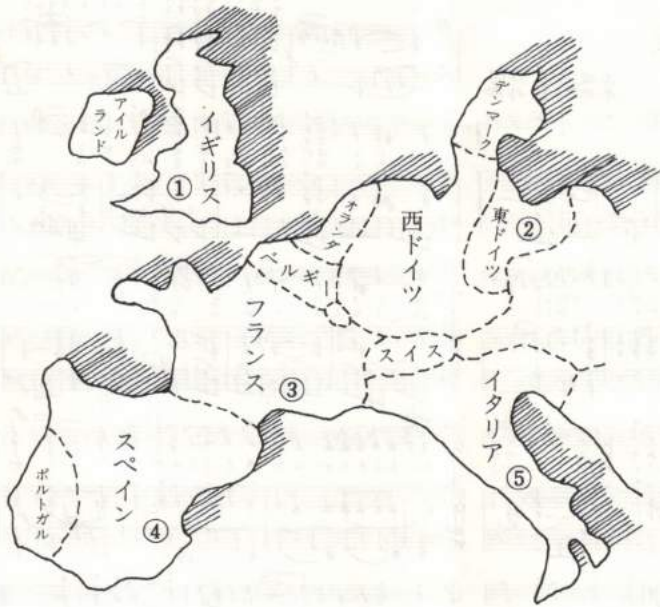
もう卒業したから高校のことなんか忘れてしまったーなんていう人、一度この機会に我が母校文京の校歌を口ずさんでみませんか？すると忘れかけていた高校時代の思い出が、泉のごとく湧き出てくることでしょう。

椎のかけ、枝深く茂れるところ…今も校門のすぐそばに椎の木がそびえています。昔のままの姿です。

さ、元氣よく文京の校歌をうたってみましよう。

ヨーロッパ諸国を歴訪して

〈ヨーロッパ地図〉



上図の番号は塩田先生がヨーロッパ諸国を歴訪なさった順路です。

塩田 徹

私は本年度の文部省・都教委の共催による海外視察団に参加する機会を得、イギリス・ドイツ・フランス・スペイン・イタリアの五カ国を回ってきた。十月十五日深夜、羽田を飛び立ち、アンカレッツジ経由の北回りでロンドン着、その後各国を視察して十月三十日深夜、南回りで羽田へ帰着というあわただしい旅程であったので、各国の内情を深く視察するわけにはいかなかった。しかしヨーロッパは私にとって専攻科目の関係もあって垂涎の地であり、それなりに成果が得られたと思っている。以下編集部依頼もあったので、印象に残った点を略述してみた。

「イギリス」

十月十六日未明、小雨降るロンドンのヒースロー国際空港に降り立った。小雨にけぶるロンドンの街は、その第一印象を静かで落ち着いたものにした。午前中ホテルで仮眠をとり、午後からさっそく研修の開始だ。

ロンドンの市内見学では、大英博物館の展示物の豊富さに驚かされた。ここは、まさに十九世紀の大英帝国の繁栄の遺産だ。ある一室にはアテネのバルテノン神殿の破風がそっくりそのまま展示されているし、ある一室にはアッシリアの古都ニムルドの巨大な有翼人頭獣身像が展示されたりする。

しかし、やっぱり興味深かったのは、日常話題にしているロゼッタストーン、マグナ・カルタ、シエクスピアの初版本などを見たときである。これからの授業で、ロゼッタストーンはこんなものだといえ、これ程豊富な内容を蔵する博物館の見学が、わずか数時間しか許されなかったのは至極残念であった。

ロンドン滞在最後の日、朝早く一人宿を抜けだし地下鉄でウェストミンスターまで行きホワイト・ホールを散策したのは忘れられない。勿論、その近くには、チームズ川に沿って議事堂があり有名な「ビッグベン(時計台)」がそびえているし、「ダウニング街十番地(総

理大臣官邸)」「バックingham宮殿」などもある。このホワイト・ホールの一角で英王チャールズ一世の像を、清教徒革命の際、処刑された場所に見出したのは、驚きであった。

その他、ロンドン塔、ロンドン郊外のウインザー城の見学も印象に残った。しかし、期待していたイートン校の研修は、授業内容を学校側の都合で見られず残念であった。

「ドイツ」

ドイツといっても東西ベルリンを見学したのだが、西ベルリンでは大使館が便宜をはかってくれたので、国民学校(Volksschule)の基礎学校(Grundschule)の授業を参観することができた。

校長先生をはじめ諸先生が親切に迎えてくれて、一時間たっぷり六年生の英語の授業を参観した。内容は日本の中学二、三年生程度だろうか。視聴覚教材を駆使し、会話を中心とした授業運びで、自国語を一切使わずに生徒をぐいぐいひきつけているのは見事であった。むこうの先生はしきりに視聴覚の器具を自慢していたが、その程度のもものは日本にもある。それよりも教材研究が十分になされ、ダイナミックな授業展開に感心させられた。

授業参観後、テレビと非行の問題、進路の問題、教育目的など先生方と話したが、色々教えられることが多かった。その内容

については紙面の関係で割愛する。

ベルリンの市内研修では、戦後の冷戦の落とし子である東西ベルリンの壁、消費文化の氾濫する西ベルリンと公共生活を優先する東ベルリンの生活の違いなど、考えさせられる点が多かった。

「フランス」

フランス革命が勃発した一七八九年七月十四日、パリの民衆が辿ったコースを歩いてみたいというのが、パリでの念願であった。パリ市庁舎からアンバリッド(廃兵院)へ、それからサンタントワーヌ通りを経てバスティーユへというのである。途中、コンコルド広場、印象派美術館、ルーブル美術館、カルチエラタンなど寄り道をしたので、二日間かかったが、どうにか全行程を歩くことができた。

パリ市内見学もさることながら、オーブションアルツァーで、ノルマンディー地方を見学したのは、全行程の圧巻であった。澄み渡った空の下、あふれる陽の光の中に、ゆるやかな起伏をもつどこまでも広がる緑の草原・耕地、ところどころに牛が放たれ、それはさながら一幅の絵であった。あの写真主義や印象派の絵画が生れたのは、もっともだと思われた。

ノルマンディー地方の古都ルーアンは落ち

着いた町であった。その郊外にある英王リチャード獅子心王が築いたといわれるガイアル城は、美しい影をセーヌ川に映していた。市の中央には、ゴシックの大聖堂が、その美しい尖塔を澄み渡った空に屹立させていた。

（スペイン）

フランスからピレネ山脈を越え、イベリア半島に入ると、景観はがらりと変る。赤茶けて荒涼とした丘陵が続いている。私たちが見学した古都トレドは、そのような丘陵に位置していた。くずれた鍊瓦の橋・城・教会が丘陵の間をぬって流れるタホ川に浮かんでいて、独得の雰囲気をつくりだしていた。飛行機で知りあったアメリカ人は、「パリは美しく、スペインは乾燥していて汚ない」と語った。しかし、スペインには北ヨーロッパと違う美しさがあった。

ここでは、この町が生んだ画家グレコの家を訪ねた。あの幻想的・宗教的な絵画は、やはりトレドの風土ならではの思われた。

首都マドリッドでは、なんとといってもプラド美術館が印象に残った。スペインが生んだ三大巨匠ヴェラスケス、エル・グレコ、ゴヤの絵画を味わえたのは感激であった。どの一点をわが国にもってきても、えんえん長蛇の列ができるであろう。ヨーロッパではどの国でもそうだが、美術館は市民に開放され、人

びとは気軽に見学にきていた。市民の日常生活に溶けこんでいるように思えた。

（イタリア）

スペインからイタリアへ来ると、自然の景観も、人間の世界もさらに変る。スペイン程荒涼としてはいないが、空はさらに深く澄み、やはり地中海世界であることを感じさせる。家屋は密集し、道路は汚れ、窓には「イタリアの旗」である洗濯物が日本と同様ぶら下がっていた。いままで回ってきた諸国と違い、なんとなく親しみを感じさせる。

北イタリアの都市ミラノでは、イタリア最大のゴシック大聖堂やレオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」を見学。「花の都フィレンツェ」では、ミケランジェロの丘と呼ばれる高台から見た市の全景の美しさは格別であった。アルノ川の対岸に見るサンタマリア・デル・フィオーレの八角堂、ベッキオ宮が夕日に映えて美しかった。

「永遠の都ローマ」は遺物・遺跡が豊富で町全体が観光資源といった感じ。私達のホテルが、往時のローマ帝国の中心フォロ・ローマノに近かったので、朝夕その近くを散歩し、ローマの栄光を偲ぶことができた。

明るい南イタリアの景色も印象的であった。ナポリ湾から見たベスピオ山やソレントの美しさは「ナポリを見てから死ぬ」の諺を思い

ださせた。

このナポリの近くに有名なポンペイの遺跡がある。ここは、勿論、紀元後一世紀ベスピオ火山が爆発し埋もれてしまっていたのを、十八世紀に発掘されたものである。整然と計画された都市、歩道のある道路、フォールム・神殿・凱旋門・浴場跡など、かつての繁栄を物語っていた。イタリア人のガイドが「ベッティの家」と呼ばれる当時の裕福な商人の家を案内し、いきなり壁にはめこまれた扉を開き春画を見せ、チップを要求したのには驚いた。イタリア人はチャッカリしている。

イタリアを離れる日、中東戦争の影響で、飛行機の出発時間が大幅に遅れたのをさいわい、タクシーをとばしてヴァチカンのシステイナ礼拝堂の壁画を見に出かけた。それは想像していた以上に雄大で迫力があり、この研修旅行を締めくくるにふさわしいものであったと思う。



飯塚先生ご逝去



「はだかの会」の皆様お元気でいらっしやいますか。無論、この会をご存知ない方も多いかと思ひます。そして、かつて我母校、文京高校で活躍なされた飯塚林之助先生のことに関しまして。しかし、去る五月八日午前四時三十分老衰の爲満八十五歳でおなくなりになりました。そこで、先生のことは存じませぬ者ではございますが、ご冥福を心からお祈りいたすと共にご遺族の方から西岡先生の元へよせられましたお手紙を紹介させていただきます。事になりまして。

先生は、明治二十一年十二月八日、埼玉県北埼玉郡にお生まれになり、軍人生活も長く、大正三年の第一次世界大戦には山東半島に上陸、モルトケ要塞を攻略されるなど、活躍さ

れ、又大正五年、東京陸軍廃兵院付となり、巢鴨の地に初めて勤務されたとのことです。そんな中でも大塚駅附近、巢鴨警察署附近にかけてはその頃は相当の敷地があり、樹木が繁り、ひばりのさえずる長閑な情緒が漂っていたとそうで、その頃の様子がうかがわれます。それに比べ、現在はあまりにも近代化し、時のうつり変りのはげしさが感じられます。

そして、昭和十一年、ラジオの臨時ニュースにより所謂二・二六事件が勃発、その主力が先生の原隊であると聴きになられると、戦時軍装に身をかためて自宅玄関にて待機の姿勢でいたというところなどは、先生という方の一面がうかがわれるようで、全くご存知ない方でも、この飯塚林之助先生のイメージが浮かばれるのではないかと思ひます。またこのお手紙を拝見致しましても、この紙上にいろいろと述べる事ができないのが全く、残念なくらい、先生のご様子がうかがわれ、軍人としての飯塚林之助先生、そしてまた、教育者としての先生、このお手紙にて、そんな先生の横顔を拝見致しますと、当時のことがわかるばかりではなく、我々若い者に何か

を訴えかけているかのようにも思われました。そして、昭和四十五年、あの学校紛争が華やかだったころの文京高校を、先生は一体、どのようにお感じになられたことでしょうか。しかし、その先生も、今は故人となられ、我、直接、先生に接することの出来なかつた者にとつては、とても残念でなりません。が先生も、法徳院教導繁林居士、という御名で名知らぬ我々をも、きつとお導きなされることとでありましょう。

人は、それぞれの歴史をつくり、築き、数多い想い出をつくるものであります。今回、このような形で、先生の貴重なご体験をうかがうことが出来ましたことは、言葉では言い表わせぬほどのものがございました。先生の遺族の方をはじめ、西岡弘先生、ありがとうございました。ご遺族の方からのお手紙をそのまま、皆様にお伝えすることが出来ませんでしたことを深くお詫び致します。

そして、皆様で、先生のご冥福を心からお祈り致しますよう。

ダンスを踊りましょう

ダンス部からのお知らせ

も十分あり「いい汗かこう」で運動不足も解消です。

私は文京高校を卒業して六年間、幹事としてお手伝いしてきました。そこで感じることは、最近の卒業生、特に男性はダンスに対して誤まった感覚を持っているのではないでしょう。男性の参加が少なく、常に女性があるというのが、最近の状態です。ダンスは健全なスポーツと全く同じです。はずかしがらず、どんどん参加してください。

文京高校同窓会ダンス部では、わずかな会費で、しかも一流プロのダンス教師に習うことができます。そして、講習会が終了した後は、ダンスパーティーのふん囲気を味わってもらうために、おさらいパーティーまで用意してあるという、初めてダンスを習う方を中心としたプログラムを組んであります。

ここ数年、同窓会の総会を実施していただいので学年、クラスを越えた旧友、知人、先



みんな熱心に

皆さんは、幾度か外国映画を見たことがあると思います。その中でダンスパーティーの場面に会ったことも一度や二度ではないと思います。映画のように美しいポーズで踊れりませぬ。そう、あのように踊れたら素晴らしいですね。アメリカやヨーロッパでは、ダンスの上手、下手が、ボーイフレンド、ガールフレンドを選ぶ大きな要素の一つとなつていくくらい大衆化していると言われていきます。今、日本でもダンスは現代人の常識となりつつあります。どこの大学でも、学園祭の前には必ずといっていいほど、ダンスパーティーがあります。又会社に入ってもダンスパーティーに接する機会が多い事と思います。ダンスが踊れないばかりにそういう機会に損をしていませんか。ダンスパーティーで踊れない為に壁に立って指をくわえて、人の踊るのを見ているほど惨めなことはありません。しかもダンスは、美容と健康に最適、運動量

生方に会う機会はめつたにないと思います。クラス会ではできない、思いがけない旧友に会うこともありませう。昔の友人に会うのは楽しい事です。

このように、素晴らしいサークルは、他校の同窓会には類をみません。文京高校独自のものです。現在まで、同窓会ダンス部が続けてこられたのも、同窓会会長を初め、理解のある先輩達の援助のおかげです。この同窓会ダンス部を皆様で協力して、もっと素晴らしいものにしようではありませんか。



美しいポーズ

さあ、あなたも講習会、パーティーに参加して下さい。

五十年春 ダンス講習会(予定)

日時 五月十一日、十八日、二十五日

六月 一日

毎日曜日、午後一時より三時まで

場所 浅野ダンススクール(池袋西口)

会費 一七〇〇円

内容 A組(初級) ルンバ・マンボ・ブル

ース・ワルツ・ジルバ

B組(中級)

キューバンルンバ・チヤチャ・タンゴ・ワルツ・クイック

五十年春 ダンスパーティー(予定)

日時 六月七日(土曜)

午後五時より八時半

場所 東保健保会館(信濃町)

会費 八〇〇円

このダンス講習会及び、ダンスパーティーは、毎年二回、春・秋に実施しております。さらに技術の向上を願う人の為に毎月一回ダンス研究会を開いております。

申し込み及び、問い合わせは、

〒170 東京都豊島区北大塚三―三二―三、

TEL 九一八―九六五八

水村俊雄まで



昭和47年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和47. 4. 1～48. 3. 31の間の会計は次の通りになります。

昭和48年3月31日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
会計監査 最上誠大朗
" 市川昌昌平

1. 財産目録 (48. 3. 31)

イ 貸付信託 (基本財産)	4,090,000円
ロ 現金	998,575円
ハ 物品 ①両開き書庫1、 ②書類入れ1、③手提金庫1、④机2、 ⑤いす1、ファイル1、⑦ストープ1	
ニ 郵便口座	890円
ホ 奨学基金	94,164円
ヘ 会館建設基金	175,300円

2. 現金

①収入	3,326,335円
繰越し	355,224
会費(46卒 2,800×411)	1,150,800
" (47卒 2,900×426)	1,235,400
旧一C 吉田大蔵終身会費	3,000
利子・配当	214,882
名簿代	3,000
その他	14,029

②支出	1,977,760円
経常費	777,760
内	
各部・会計	15,000
名簿	342,000
会報印刷	160,000
" 送料	181,250
人件費	28,600
訳	
通信・交通	11,240
運営費	34,670
慶弔費	5,000
貸付信託	1,100,000
会館建設基金	100,000

③繰越し 998,575円

昭和48年度
都立文京高等学校同窓会会計報告

昭和48. 4. 1～49. 4. 20の間の会計は次の通りになります。

昭和49年4月20日 会長 渡辺 剛彰
会計 太田 敏夫
監査の上、正確であることを認証します。
会計監査 最上誠大朗
" 市川 昌平

1. 財産目録 (49. 3. 31)

イ 貸付信託 (基本財産)	4,490,000円
ロ 現金	801,762
ハ 物品 ①両開き書庫1、②書類入れ1、 ②書類入れ1、③手提金庫1、④机2、 ⑤いす1、⑥ファイル1、⑦ストープ1	
ニ 郵便口座	890
ホ 奨学基金	199,543
ヘ 会館建設基金	382,676

2. 現金

①収入	2,567,801円
繰越し	998,575
会費(48卒 3,000×416)	1,248,000
利子・配当	261,067
名簿代	9,200
その他	50,959

②支出	1,766,039円
経常費	1,066,039
内	
各部・会計	35,000
名簿	928,800
(47年度	364,800)
48 "	564,000)
通信・交通	35,000
運営費	67,239
貸付信託	400,000
会館建設基金	200,000
奨学基金	100,000

③繰越し 801,762円

表紙の言葉

48年卒(3-B) 中村 浩一

数冊の「紫箱」と、僕の何枚かの表紙の下描きを前にして、表紙のもつ、大きな意味や、重要性を考えさせられました。そして、この表紙に決めました。僕自身この絵が一番気に入っています。「紫箱」を読んで下さる方が、あの表紙を見て、楽しい、やさしい気分になって下されば、うれしいかぎりです。話は、変わりますが、今回、表紙に、こんな絵を描きました。僕は、元来とても、ずるい人で、自分本位の人間だったのです。今も、そうでしょう。しかし、近頃、人に思いやりのある、やさしい良い人間になりたいと思っています。「思いやりのある人間」とてもむずかしい事ですが、この文を、井上陽水のレコードを聞きながら書いています。陽水の歌う詩には、すばらしい人間的な思いやりのある愛情があふれていると、思います。中でも、「人生が二度あれば」などは、推薦曲という感じですが、お金がある人は、買って聞いてみて下さい。心の中に何か熱いものが湧き上がって来ると思っています。

2 就 職

住 金 物 産	住 友 金 属	新 日 本 製 鉄	山 一 証 券	日 本 フォノグラム	安 田 火 災	プ リ ザ ス ト ン	東 京 海 上 火 災	帝 人	日 新 製 鋼	伊 勢 丹	朝 日 生 命	東 京 ガ ス	大 洋 漁 業	丸 善	日 本 経 済 新 聞	西 武 百 貨 店	川 崎 製 鉄	日 本 ビ ク タ ー	
(1)	(2)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)

退職された先生方

48年度

阿部桂太郎先生(書道)
島村 政栄先生(英語)

49年度

石田 弘正校長先生
楠本美代子先生(事務)

転任された先生方

48年度

坂本 育雄先生(国語) 都立駒場高校へ
吉田 史江先生(事務) 都立羽田工業へ
高橋 絹子先生(事務) 都立農芸高校へ
木村 正先生(事務) 都立高島高校へ
頼所 潔子先生(事務) 都立千歳高校へ

49年度

高橋 英夫先生(体育) 都立北高校へ
佐藤美和子先生(体育) 都立足立西高校へ
亀岡 良平先生(社会) 都立清瀬高校へ
塩田 徹先生(社会) 都立日比谷高校へ
山際 勉先生(体育) 都立忍岡高校へ

昭和49年度同窓会役員名簿

役 職	氏 名	卒 業 年 組	電 話
会 長	渡 辺 剛 彰	20 - A	811-7704
副 会 長	西 岡 弘	20 - C	811-6311
"	赤 坂 正 雄	20 - C	0498-31-2925
会 計	太 田 敏 夫	26 - A	0484-64-3983
会 計 監 査	祝 田 雅 美	42 - D	0492-52-9830
"	渡 部 曜	46 - H	362-7998
総 務	酒 井 賢 二	49 - E	915-7641
名 簿	木 下 美 代 子	49 - H	982-1995
会 報	大 野 富 士 子	49 - G	916-9046
ダ ン ス	水 村 俊 雄	44 - I	918-9658

編 集 後 記

ほんのちよつとした時や、何げないでき事で、ふと、高校時代のことを思い出す……。だれにもそんな時ってあると思います。この「紫筍」を手にした時、そのなつかしさが甦ってもらえたらなァーそう思っただけです。とにかくこの紫筍は、卒業生と文京とをつなぐかけ橋なので、記事も、おもしろくして読みごたえのある内容にしよう、と最初はいろんなプランを立てましたが、現実には甘くなく発行も四月の子定が半年近くも遅れ季節はずれの発行となってしまい、ただただ反省の念にたえませんでした。読み終えた御感想はいかがでしたでしょうか。

最後に、原稿をお寄せ下さった方々、諸先生方、本当にありがとうございました。

編集委員 山下祐嗣

文京高校同窓会報

紫 筍 〈第18号〉

昭和49年11月25日

発行 文京高校同窓会
 編集者 山下 祐嗣・菅原 洋一
 大野富士子・薄井 豊子
 藤井 典子

印刷 シ ミ ズ 印 刷
 電話 (821) 1 6 3 5

<p>婦人科渡辺クリニック</p> <p>— A 渡辺 邦緒</p> <p>青山通り富士銀行ソバ ☎403-3777(自)719-1778</p>	<p>静谷歯科医院 (歯科一般)</p> <p>四 D 静谷 栄夫</p> <p>170 豊島区西巢鴨 3-8-15 ☎915-0072</p>	<p>静谷クリニック (内科・婦人科)</p> <p>四 B 静谷 晴夫</p> <p>170 豊島区西巢鴨4-6-2 ☎910-1136</p>
<p>印刷全般、KK祥文社</p> <p>— A 大山 和男</p> <p>国電、千代田線 西日暮里駅前 ☎801-2201</p>	<p>出光ガソリンスタンド) 自動車販売整備 飯田橋・神保町</p> <p>— B 末 正明</p> <p>112 文京区後楽2-6-1 ☎261-5111 (自)811-0755</p>	<p>栗原製作所 (各種ディスプレイ製造)</p> <p>— B 栗原 正昭</p> <p>111 台東区元浅草4-5-5 ☎841-2515 (代)</p>
<p>高松診療所</p> <p>— B 野久保泰徳</p> <p>190 立川市高松町 2-2-24 ☎0425-22-7725</p>	<p>同仁産婦人科 (池上線石川台駅前)</p> <p>— B 野村総一郎</p> <p>145 大田区東雪谷 2-24-8 ☎720-1077.727-7255</p>	<p>銀座菊地病院 (副院長、内科部長)</p> <p>二 A 湖山 聖道</p> <p>104 中央区銀座 7-13-15 (勤)541-1151 (自)956-3331</p>
<p>日比谷整形外科</p> <p>— C 山中 秀男</p> <p>銀座電通どーり ☎571-2045(自)714-9518</p>	<p>ヨシヒデ金属KK 代表取締役 (非鉄金属材料の販売、 金属材料コンサルタント)</p> <p>— A 郡司 良典</p> <p>180-03 東久留米市小山 1-17-3 ☎0424-71-4415</p>	<p>渡辺歯科医院</p> <p>— A 渡辺 敏雄</p> <p>160 新宿区東大久保 2-212 ☎203-3952</p>
<p>弁 護 士</p> <p>— A 渡辺 剛彰</p> <p>113 文京区西片 2-12-23 ☎814-1984</p>	<p>KK宇高 (装飾家具製造)</p> <p>— B 高梨 均</p> <p>106 港区麻布十番1-7 (自)401-8813 (会)413-9111</p>	<p>勝山歯科医院</p> <p>— A 勝山 和夫</p> <p>墨田区太平3-14-5 ☎623-6952 (自)659-5675</p>
<p>豊北整形外科 (神経痛、骨折)</p> <p>— A 鈴木 勲</p> <p>西武練馬駅・安田生命ウラ ☎991-8424</p>	<p>八州印刷KK</p> <p>— B 川上 光男</p> <p>114 北区王子本町 2-11-6 ☎909-321 (自)815-2829</p>	<p>会報発行に 協賛いたします</p> <p>(次号の協賛会費五千円 のお申込みは同窓会へ)</p>